



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月29日

上場会社名 大日精化工業株式会社
 コード番号 4116 URL <http://www.daicolor.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 弘二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 推進機構担当 (氏名) 榊原 俊哉

TEL 03-3662-7128

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日

2020年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	155,108	9.0	4,850	44.4	5,582	39.7	3,977	2.6
2019年3月期	170,394	1.8	8,718	33.3	9,264	32.7	3,876	53.6

(注) 包括利益 2020年3月期 1,267百万円 (92.5%) 2019年3月期 658百万円 (93.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年3月期	214.24		4.2	3.0	3.1
2019年3月期	208.81		4.1	4.7	5.1

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 222百万円 2019年3月期 152百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年3月期	187,296	95,675	50.1	5,052.36
2019年3月期	190,701	96,055	49.3	5,068.65

(参考) 自己資本 2020年3月期 93,799百万円 2019年3月期 94,103百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	12,829	3,552	3,026	27,636
2019年3月期	266	6,925	1,183	21,419

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年3月期		42.50		42.50	85.00	1,578	40.7	1.7
2020年3月期		42.50		35.00	77.50	1,438	36.2	1.5
2021年3月期(予想)								

(注) 2021年3月期の配当につきましては、現時点で未定です。配当に関する事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概要(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症が世界規模で拡大している影響により、現段階では合理的な業績予想の算出が困難であるため、未定とさせていただきます。今後、業績への影響を慎重に見極め、合理的な予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	18,613,110 株	2019年3月期	18,613,110 株
期末自己株式数	2020年3月期	47,702 株	2019年3月期	47,273 株
期中平均株式数	2020年3月期	18,565,605 株	2019年3月期	18,566,049 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	117,685	6.6	1,583	49.4	2,326	42.0	1,777	11.2
2019年3月期	126,037	0.1	3,128	54.6	4,014	53.4	2,000	65.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	95.73	
2019年3月期	107.74	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	132,551		57,550		43.4		3,099.88	
2019年3月期	135,665		58,577		43.2		3,155.13	

(参考) 自己資本 2020年3月期 57,550百万円 2019年3月期 58,577百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症が世界規模で拡大している影響により、現段階では合理的な業績予想の算出が困難であるため、未定とさせていただきます。今後、業績への影響を慎重に見極め、合理的な予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。なお、詳細につきましては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
(6) 事業等のリスク	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度の世界経済は、期初から期央にかけて、米国経済は良好な雇用・所得環境が個人消費を下支えしましたが、中国経済は対米貿易摩擦により輸出が低迷、その他アジア新興国地域は対中国向けの輸出が低迷するなど、それぞれ弱含みで推移致しました。日本経済は海外経済の減速により輸出が減少し、さらに10月以降の消費増税により消費者マインドが悪化、個人消費が低迷しました。加えて、2020年1月以降、新型コロナウイルス感染症の拡大により世界経済の停滞が始まりました。

このような経済環境のもとで、当連結会計年度における売上高は、化学品事業及び高分子事業の車両業界向け製品及び化成品事業の情報・電子業界向け顔料等が低調に推移し1,551億8百万円（前年同期比9.0%減）と減収になりました。営業利益は、売上高の減収により48億5千万円（同44.4%減）、経常利益は55億8千2百万円（同39.7%減）とそれぞれ減益となりました。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益に投資有価証券売却益を計上したほか、清算が決定したスペイン子会社の株式評価損に係る繰延税金資産を計上したことなどにより39億7千7百万円（同2.6%増）と増益となりました。

次に事業セグメントの業績についてご報告いたします。

なお、営業利益につきましては、全社費用等の配分前で記載しております。

(化成品事業)

当事業は、塗料、印刷インキ、情報表示・記録用の無機・有機顔料及び加工顔料、繊維用着色剤の製造・販売を行っております。情報表示・記録用顔料は下期に減速し低調に推移しました。また、その他汎用顔料は低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は241億5千4百万円（同5.6%減）、営業利益は21億5千9百万円（同36.6%減）となりました。

(化学品事業)

当事業は、マスターバッチ、樹脂コンパウンドなどのプラスチック用着色剤、紫外線・電子線硬化型コーティング剤の製造・販売を行っております。車両業界向けは樹脂コンパウンド及び海外向けのマスターバッチが低調に推移しました。コーティング剤は情報・電子業界向けが堅調に推移しました。海外連結子会社においては東南アジアの樹脂コンパウンドが低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は844億6千万円（同10.6%減）、営業利益は39億3千8百万円（同29.1%減）となりました。

(高分子事業)

当事業は、ウレタン樹脂、天然物由来高分子の製造・販売を行っております。産業資材業界向けの特種コーティング剤が低調に推移致しました。また、海外連結子会社においては中国・アメリカの事業拠点の業績が低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は181億5千1百万円（同8.9%減）、営業利益は27億1千3百万円（同22.7%減）となりました。

(印刷総合システム事業)

当事業は、印刷インキの製造・販売及び事業に付帯する商品とサービスを提供しております。グラビアインキは国内の一般包材向けのパッケージ関連が低調に推移しましたが、海外連結子会社においては、インドネシアの拠点の業績が堅調に推移しました。一方、オフセットインキは需要減少が続きました。

これらの結果、当セグメントの売上高は281億5百万円（同5.9%減）、営業利益は20億3千6百万円（同6.1%減）の減益となりました。

(その他事業)

当事業は、グループ各社等への不動産賃貸等を行っております。当セグメントの売上高は2億3千6百万円（同52.6%減）となり、営業損失は2億2千6百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は1,872億9千6百万円となり、前連結会計年度末と比べ34億4百万円減少いたしました。これは、「投資有価証券」が減少したことなどによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は916億2千1百万円となり、前連結会計年度末と比べ30億2千4百万円減少いたしました。これは、「支払手形及び買掛金」が減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は956億7千5百万円となり、前連結会計年度末と比べ3億8千万円減少いたしました。これは、「親会社株主に帰属する当期純利益」の計上により「利益剰余金」が増加した一方で、「その他有価証券評価差額金」及び「退職給付に係る調整累計額」が減少したことなどによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ62億1千6百万円増加し、当連結会計年度末には276億3千6百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりとなっております。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は128億2千9百万円となりました。これは主に「売掛債権」「たな卸資産」及び「法人税等の支払額」が減少したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は35億5千2百万円(前年同期比48.7%減)となりました。これは主に「有形固定資産の取得による支出」として支出したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は30億2千6百万円(同155.7%減)となりました。これは主に「配当金の支払額」及び「借入金の返済による支出」として支出したことなどによるものであります。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症拡大のため、世界各国で外出規制等により経済活動が停滞しておりその影響は当面続くと想定されます。現時点における当社グループの国内外拠点の事業活動は、概ね通常どおりではありますが、インド・メキシコの拠点で現地政府の要請によるロックダウン等により操業停止となっており、これら2拠点については依然予断を許さない状況にあります。

このような状況下において、当社グループは、化学業界において川中に位置し、車両・情報電子・建築資材・産業資材・パッケージ等の多様な業界に製品供給していることもあり、当社グループの業績に対する影響は、今後の新型コロナウイルス感染症の収束時期および、その後の需要回復状況に依存するため極めて想定が難しく、現時点では合理的に見積もりできる状況にはありません。

従いまして、当連結会計年度の業績予想は、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上の観点から、将来の事業展開、経営基盤の強化並びに内部留保の充実等の事項を総合的に勘案しつつ、株主各位への利益還元を重視した配当政策を継続的に実施することを基本方針としております。

当期は化学品事業及び高分子事業の車両業界向け製品の需要が米中摩擦の影響を受けて低迷したこと及び化成品事業の情報表示・記録用顔料等も下期より減速、需要が低調に推移しました。この結果、連結業績予想の数値を下回る結果となりました。

加えて、現在新型コロナウイルス感染症の全世界的な拡大により企業活動への不透明感が高まっており、当社を取り巻く経営環境も急速に悪化しつつあるものと認識しております。予測しがたい経済環境の中で事業継続するために、当社は、十分な手元流動性の確保や雇用の安定などの施策により経営基盤を引き続き安定させて回復期を迎えることが喫緊の課題であると考えております。現環境下においては、これらの方策が、企業価値の維持と向上に結びつくものと確信しております。

以上のことから、当期の期末配当金につきましては、誠に遺憾ではありますが、公表しております配当予想額から1株当たり7.5円減配させて頂き1株当たり35円の予定とさせて頂きます。

本日公表しました「剰余金の配当(減配)に関するお知らせ」の通り、当期中間1株当たり配当42.5円と合わせて、当期の配当は1株当たり77.5円となる予定です。

次期の配当につきましては、今後の見通しに記載いたしました通り、連結業績予想の合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

(6) 事業等のリスク

当社グループの事業に関するリスクのうち、新型コロナウイルス感染症に関して以下のリスクがあります。

- ・車両生産台数の減少による車両業界向け当社グループ製品の需要減少
- ・従業員の罹患や罹患防止策に伴う当社グループにおける生産の遅延、停止
- ・サプライチェーン各社における諸施策により、原材料や製商品のフロー遅滞
- ・業績悪化となったお客様に関連する貸倒発生
- ・資金調達が困難となることによる財政状態の悪化

従業員の安全確保、製商品の安定供給のために、健康・衛生管理、会議・研修・イベント等への参加自粛、国内外出張の制限、在宅勤務、テレワーク導入等、逐次対策を検討・実施すると同時に、得意先や金融機関などとも緊密に情報交換を行いながら、業績への影響を緩和させるべく、対処してまいり所存であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,515	29,915
受取手形及び売掛金	53,308	47,331
商品及び製品	19,780	18,797
仕掛品	490	567
原材料及び貯蔵品	10,178	9,129
その他	2,360	2,093
貸倒引当金	△86	△87
流動資産合計	109,546	107,748
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	40,997	42,254
減価償却累計額	△26,228	△26,518
建物及び構築物(純額)	14,769	15,736
機械装置及び運搬具	52,047	53,492
減価償却累計額	△42,686	△42,569
機械装置及び運搬具(純額)	9,361	10,923
工具、器具及び備品	10,673	11,180
減価償却累計額	△8,808	△9,048
工具、器具及び備品(純額)	1,864	2,131
土地	15,729	14,086
リース資産	1,000	1,046
減価償却累計額	△560	△535
リース資産(純額)	439	510
建設仮勘定	3,486	4,017
有形固定資産合計	45,649	47,406
無形固定資産		
その他	3,024	2,955
無形固定資産合計	3,024	2,955
投資その他の資産		
投資有価証券	22,348	19,349
出資金	533	548
繰延税金資産	666	1,243
退職給付に係る資産	7,012	6,102
その他	1,965	1,962
貸倒引当金	△46	△18
投資その他の資産合計	32,479	29,186
固定資産合計	81,154	79,548
資産合計	190,701	187,296

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,716	25,641
短期借入金	15,184	15,107
1年内返済予定の長期借入金	10,063	8,978
リース債務	160	212
未払法人税等	611	506
賞与引当金	2,293	2,227
関係会社整理損失引当金	4	81
環境対策引当金	80	10
その他	5,188	7,411
流動負債合計	63,302	60,177
固定負債		
長期借入金	16,817	16,740
リース債務	743	690
繰延税金負債	415	167
関係会社整理損失引当金	708	1,190
環境対策引当金	3,058	3,195
退職給付に係る負債	8,936	8,840
その他	663	619
固定負債合計	31,343	31,444
負債合計	94,646	91,621
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,039	10,039
資本剰余金	9,772	9,772
利益剰余金	68,578	70,978
自己株式	△108	△110
株主資本合計	88,282	90,680
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,355	6,552
繰延ヘッジ損益	△1	—
為替換算調整勘定	△1,430	△1,592
退職給付に係る調整累計額	△1,101	△1,841
その他の包括利益累計額合計	5,821	3,118
非支配株主持分	1,951	1,876
純資産合計	96,055	95,675
負債純資産合計	190,701	187,296

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	170,394	155,108
売上原価	141,735	131,329
売上総利益	28,658	23,779
販売費及び一般管理費		
運搬費	3,270	3,347
貸倒引当金繰入額	21	5
給料及び手当	5,924	5,398
賞与引当金繰入額	723	862
役員退職慰労引当金繰入額	5	—
退職給付費用	420	438
その他	9,574	8,876
販売費及び一般管理費合計	19,940	18,929
営業利益	8,718	4,850
営業外収益		
受取利息	155	194
受取配当金	396	415
固定資産賃貸料	113	101
持分法による投資利益	152	222
保険配当金	185	128
その他	545	302
営業外収益合計	1,548	1,364
営業外費用		
支払利息	435	400
為替差損	154	11
その他	412	221
営業外費用合計	1,002	633
経常利益	9,264	5,582
特別利益		
固定資産売却益	961	112
投資有価証券売却益	14	412
受取保険金	96	122
その他	13	49
特別利益合計	1,086	696
特別損失		
固定資産除却損	332	232
減損損失	4,272	1
投資有価証券評価損	73	237
関係会社整理損失引当金繰入額	94	651
環境対策引当金繰入額	28	150
その他	302	212
特別損失合計	5,103	1,484
税金等調整前当期純利益	5,247	4,794
法人税、住民税及び事業税	1,692	558
法人税等調整額	△319	257
法人税等合計	1,373	816
当期純利益	3,873	3,977
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△2	0
親会社株主に帰属する当期純利益	3,876	3,977

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	3,873	3,977
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,315	△1,807
繰延ヘッジ損益	17	1
為替換算調整勘定	△1,244	△106
退職給付に係る調整額	△508	△739
持分法適用会社に対する持分相当額	△164	△59
その他の包括利益合計	△3,215	△2,710
包括利益	658	1,267
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	734	1,274
非支配株主に係る包括利益	△75	△7

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,039	9,772	66,279	△107	85,985
当期変動額					
剰余金の配当			△1,578		△1,578
親会社株主に帰属する当期純利益			3,876		3,876
自己株式の取得				△1	△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,298	△1	2,297
当期末残高	10,039	9,772	68,578	△108	88,282

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	9,673	△19	△97	△593	8,963	2,076	97,026
当期変動額							
剰余金の配当							△1,578
親会社株主に帰属する当期純利益							3,876
自己株式の取得							△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,318	17	△1,333	△508	△3,142	△124	△3,267
当期変動額合計	△1,318	17	△1,333	△508	△3,142	△124	△970
当期末残高	8,355	△1	△1,430	△1,101	5,821	1,951	96,055

当連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,039	9,772	68,578	△108	88,282
当期変動額					
剰余金の配当			△1,578		△1,578
親会社株主に帰属する当期純利益			3,977		3,977
自己株式の取得				△1	△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,399	△1	2,398
当期末残高	10,039	9,772	70,978	△110	90,680

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	8,355	△1	△1,430	△1,101	5,821	1,951	96,055
当期変動額							
剰余金の配当							△1,578
親会社株主に帰属する当期純利益							3,977
自己株式の取得							△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,802	1	△162	△739	△2,702	△75	△2,778
当期変動額合計	△1,802	1	△162	△739	△2,702	△75	△380
当期末残高	6,552	—	△1,592	△1,841	3,118	1,876	95,675

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	5,247	4,794
減価償却費	4,205	4,374
減損損失	4,267	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	115	△55
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7	△25
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△2,057	67
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	△95	565
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△433	△273
受取利息及び受取配当金	△551	△610
支払利息	435	400
為替差損益(△は益)	7	△6
持分法による投資損益(△は益)	△152	△222
持分法適用会社からの配当金の受取額	70	69
有形固定資産売却損益(△は益)	△904	△100
有形固定資産除却損	332	232
売上債権の増減額(△は増加)	250	5,946
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,013	1,955
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,493	△4,029
その他	81	243
小計	3,317	13,325
利息及び配当金の受取額	551	610
利息の支払額	△435	△412
法人税等の支払額	△3,167	△694
営業活動によるキャッシュ・フロー	266	12,829
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,095	△2,279
定期預金の払戻による収入	2,062	2,095
有形固定資産の取得による支出	△7,218	△5,243
有形固定資産の売却による収入	1,144	1,897
無形固定資産の取得による支出	△946	△609
投資有価証券の取得による支出	△37	△64
投資有価証券の売却による収入	79	768
貸付けによる支出	△14	△14
貸付金の回収による収入	13	14
事業譲渡による収入	100	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	7
その他	△14	△126
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,925	△3,552

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	9,557	9,449
短期借入金の返済による支出	△9,284	△9,507
長期借入れによる収入	10,636	9,300
長期借入金の返済による支出	△10,220	△10,460
リース債務の返済による支出	△242	△189
自己株式の取得による支出	△1	△1
配当金の支払額	△1,578	△1,578
非支配株主への配当金の支払額	△49	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,183	△3,026
現金及び現金同等物に係る換算差額	△421	△33
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8,263	6,216
現金及び現金同等物の期首残高	29,683	21,419
現金及び現金同等物の期末残高	21,419	27,636

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、ハイテクと色彩科学の総合メーカーとして、国内外で色彩に関わる各種製品の製造及び販売、またその他付帯する事業を展開しております。

このため、当社グループでは製品を基礎とした製品別の「化成品事業」「化学品事業」「高分子事業」「印刷総合システム事業」「その他事業」の5つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主要製品・サービス

報告セグメント	主要製品・サービス
化成品事業	塗料・印刷インキ、情報表示・記録用の無機・有機顔料及び加工顔料、繊維用着色剤
化学品事業	マスターバッチ、樹脂コンパウンドなどのプラスチック用着色剤、紫外線・電子線硬化型コーティング剤
高分子事業	ウレタン樹脂、天然物由来高分子
印刷総合システム事業	印刷インキ、事業に付帯する商品とサービス
その他事業	グループ各社等への不動産賃貸等

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注2,3)	連結財務 諸表計上 額
	化成品 事業	化学品 事業	高分子 事業	印刷総合 システム 事業	その他 事業 (注1)	計		
売上高								
(1)外部顧客への売上高	25,599	94,496	19,921	29,878	497	170,394	—	170,394
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	445	57	429	0	19,229	20,162	(20,162)	—
計	26,044	94,554	20,350	29,878	19,727	190,556	(20,162)	170,394
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	3,407	5,553	3,512	2,168	△150	14,491	(5,773)	8,718
セグメント資産 (有形固定資産)	7,472	15,418	8,299	5,712	719	37,622	8,027	45,649
その他の項目 有形固定資産の 増加額	1,215	1,840	2,029	1,609	12	6,707	82	6,789

- (注) 1. 「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産賃貸などの役務提供を営む会社が含まれているためであります。当事業にかかる収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については、各報告セグメントへの配賦を行っておりません。
2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用5,773百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。
3. セグメント資産(有形固定資産)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社資産8,027百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の資産及び一部の福利厚生施設等であります。

当連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注2,3)	連結財務 諸表計上 額
	化成品 事業	化学品 事業	高分子 事業	印刷総合 システム 事業	その他 事業 (注1)	計		
売上高								
(1)外部顧客への売上高	24,154	84,460	18,151	28,105	236	155,108	—	155,108
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	374	46	396	—	16,745	17,563	(17,563)	—
計	24,528	84,507	18,548	28,105	16,982	172,672	(17,563)	155,108
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	2,159	3,938	2,713	2,036	△226	10,622	(5,771)	4,850
セグメント資産 (有形固定資産)	8,326	16,282	8,642	7,365	688	41,306	6,100	47,406
その他の項目 有形固定資産の 増加額	822	3,290	886	2,342	23	7,365	30	7,396

- (注) 1. 「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産賃貸などの役員提供を営む会社が含まれているためであります。当事業にかかる収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については、各報告セグメントへの配賦を行っておりません。
2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用5,771百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。
3. セグメント資産(有形固定資産)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社資産6,100百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の資産及び一部の福利厚生施設等であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前連結会計年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	化成品 事業	化学品 事業	高分子 事業	印刷総合 システム 事業	その他 事業	全社・消 去	合計
減損損失	178	—	—	—	—	4,093	4,272

(注) 「全社・消去」の金額は、セグメントに帰属しない全社資産に係る減損損失であります。

当連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
1株当たり純資産額	5,068円65銭	1株当たり純資産額	5,052円36銭
1株当たり当期純利益	208円81銭	1株当たり当期純利益	214円24銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2019年3月31日)	当連結会計年度末 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	96,055	95,675
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	1,951	1,876
(うち非支配株主持分 (百万円))	(1,951)	(1,876)
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	94,103	93,799
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	18,565	18,565

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	3,876	3,977
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	3,876	3,977
普通株式の期中平均株式数(千株)	18,566	18,565

(重要な後発事象)

該当事項はありません。